

# UC2322/UC2324/UC4852/UC4854

## シリアルポート設定

### 日本語版ユーザーマニュアル



#### 本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、UC2322/UC2324/UC4852/UC4854 シリアルポート設定の便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2013 年 10 月 10 日

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

# ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みにになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

## 【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

### (1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

### (2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

### (3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

### 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された製品に適用されます。それ以前に購入された製品については、保証期間は1年間です。

### 【補足】

- 本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

## 【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

# 目次

---

ユーザーの皆様へ .....	i
ATEN ジャパン製品保証規定 .....	ii
製品についてのお問い合わせ .....	v
シリアルポート設定 .....	2
概要 .....	2
プロパティ画面 .....	2
Feature (機能) タブ .....	2
COM ポートの設定 .....	3

# シリアルポート設定

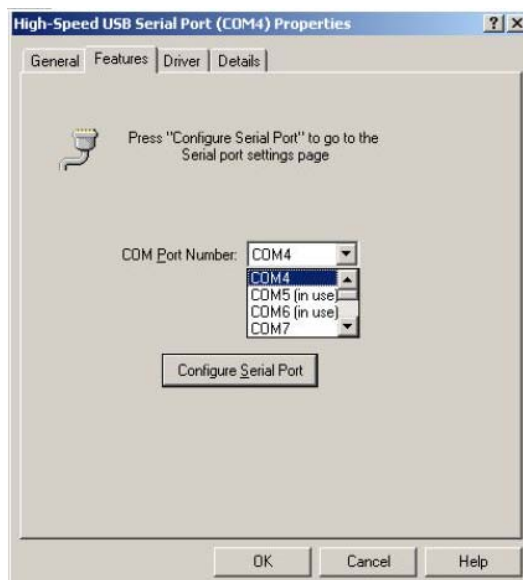
## 概要

本マニュアルは UC2322/UC2324/UC4852/UC4854 USB→シリアル RS-232 ハブをセットアップした後に行うシリアルポートの設定に関する情報を記載しています。設定を行う前にドライバーをインストールしなければなりません。ドライバーをインストールする手順については、弊社の Web サイトからユーザーマニュアルをダウンロードして頂き、これを参照してください。

## プロパティ画面

デバイスのシリアルポートを設定するには、ご使用のコンピューターで、コントロールパネル→デバイスマネジャーの順に画面を開き、「High-Speed USB Serial Port (Com X)」を右クリックして、「Properties」(プロパティ)を選択してください。次に、「Features」(機能)タブをクリックしてください。

## Feature (機能) タブ



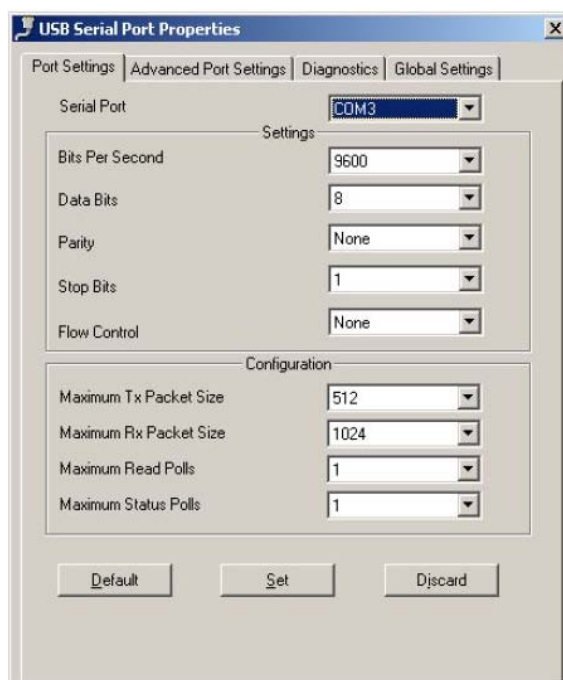
このタブはCOMポート番号の変更やポート設定に使用します。「COM Port Number」(COMポート番号)ドロップダウンリストを使用して、設定を行いたいシリアルポートを選択してください。



## COM ポートの設定

シリアルポートのプロパティを設定するには、「Features」(機能)タブから、COM ポート番号を選択して、「Configure Serial Port」(シリアルポートの設定) ボタンをクリックしてください。「USB Serial Port Properties」(USB シリアルポートプロパティ) 画面が表示されます。

### Port Settings (ポート設定) タブ

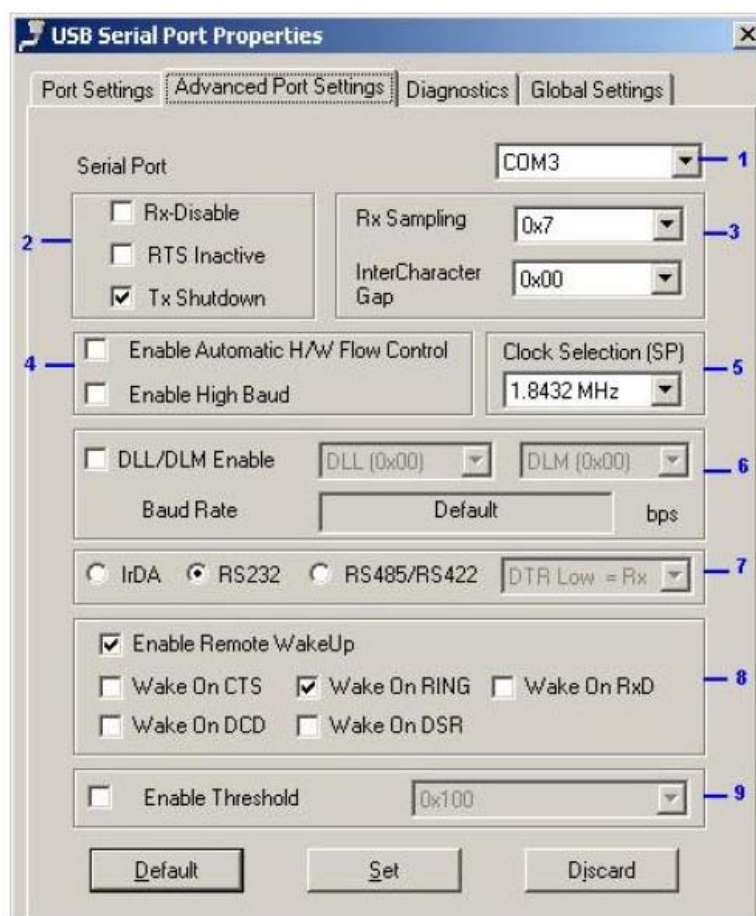


「Port Settings」(ポート設定) タブは、「Serial Port section」(シリアルポートセクション)と「Configuration」(設定)という 2 つのセクションに分かれています。設定値を全て元のデフォルト値に戻すには、「Default」(デフォルト) ボタンを、変更する場合は「Set」(設定) ボタンを、変更を適用する前にキャンセルするには「Discard」(放棄) ボタンをクリックしてください。

「Serial Port」(シリアルポート) はサードパーティーのアプリケーションを使用することなく、通信パラメーターを設定するのに使用します。これは、ご使用のアプリケーションが通信パラメーターの設定に対応していない際のみ使用可能です。

「Configuration」(設定) は、より高いボーレート(1.5Mbps、3Mbps、6Mbps)で動作させる際に、性能を向上させるのに使用します。しかし、標準ボーレートにてデフォルト値を使用した際に、最適な性能が得られます。「Maximum Status Poll」(最大ステータスポーリング) は USB のステータスエンドポイントのポーリングを増やします。

## Advanced Port Settings (詳細ポート設定) タブ



このタブでは、必要に応じて様々な設定をカスタマイズすることができます。設定値を全て元のデフォルト値に戻すには、「**Default**」(デフォルト) ボタンを、変更する場合は「**Set**」(設定) ボタンを、変更を適用する前にキャンセルするには「**Discard**」(放棄) ボタンをクリックしてください。このタブには下表のように、セクションが全部で9つあります。

No.	説明
1	<b>Serial Port</b> (シリアルポート) : 変更を行いたい COM ポートを選択してください。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Rx-Disable</b> (Rx 無効) : 選択したポートの受信能力を永久に無効にするには、このボックスにチェックを入れてください。</li> <li>◆ <b>RTS Inactive</b> (RTS 非アクティブ) : これは RTS 信号のステータスを設定します。デフォルト設定 (チェック無し) はアクティブ・ローです。</li> <li>◆ <b>Tx Shutdown</b> (Tx シャットダウン) : このボックスにチェックを入れると、USB サスペンド状態において、トランシーバーをシャットダウンします。</li> </ul>

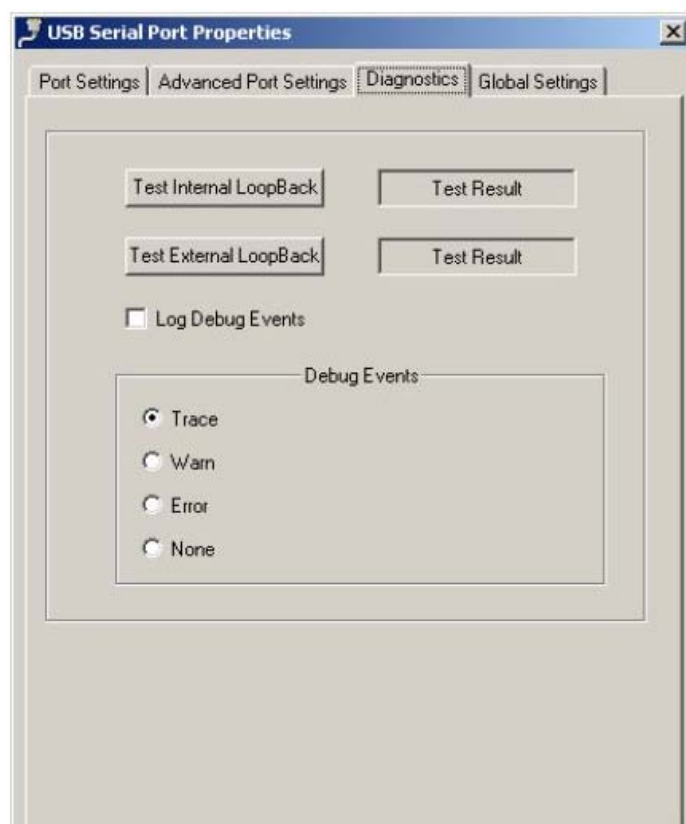
(表は次ページに続きます。)

No.	説明
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Rx-Sampling</b> (Rx サンプリング) :これは各データビット(初め、中間、または後わり)のサンプリングポイントをプログラムするのに使用します。このデフォルト値は 0×7 に設定されているので、各ビットの中間でサンプリングが行われます。</li> <li>◆ <b>InterCharacter Gap</b> (キャラクター間ギャップ) :この値は送受信されている各データビット間のギャップをプログラムするのに使用されます。デフォルトでは、この値は 0x00 で、デフォルトギャップを設定しています。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Enable Automatic H/W Flow Control</b> (自動ハードウェアフロー制御を有効にする) :このオプションにチェックを入れると、特定のシリアルポートに対して、自動ハードウェアフロー制御を有効にします。</li> <li>◆ <b>Enable High Baud</b> (高ボーレートを有効にする) :シリアルアプリケーションに対して高ボーレートを有効にします (110/150bps は 1.5Mbps、300bps は 3Mbps、600/1200bps は 6Mbps として動作します)。</li> </ul>
5	<p><b>Clock Selection (SP)</b> (クロック選択 (SP)) :シリアルポートのクロックは、このドロップダウンメニューから選択できます。1.8432MHz (デフォルト)、30MHz、96MHz、120MHz、PLL OutPut、External clock の 6 つのオプションがご利用いただけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 内部クロックに対する PLL クロック出力は、「12MHz」を選択し、「Global Settings」(グローバル設定) 画面の「Loop-Divisor」および「Pre-Divisor」値を設定することで、プログラムすることができます。</li> <li>◆ 外部クロックに対する PLL クロック出力は、「External Clock」を選択し、「Global Settings」(グローバル設定) 画面の「Loop-Divisor」および「Pre-Divisor」値を設定することで、プログラムすることができます。</li> </ul>
6	<p><b>Enable DLL/DLM</b> (DLL/DLM を有効にする) :このセクションは、DLL および DLM の適切な値を選択することによって、シリアルポートに対するボーレートのプログラムをカスタマイズすることができます。このオプションを有効にすると、これらの設定値は COM ポートアプリケーションでの設定に関わらず、シリアルポートに適用されます。各選択内容に関するボーレートは、オプションボックスの下にある「<b>Baud Rate</b>」(ボーレート) で確認することができます。</p>
7	<p>UC2322/UC2324/UC4852/UC4854 はインターフェースを自動検知してシリアルインターフェースを設定するので、オプションはグレー表示になります。</p>
8	<p><b>Enable Remote WakeUp</b> (リモートウェイクアップを有効にする) :このセクションはリモートウェイクアップ機能を有効にします。信号が要求する内容に応じてオプションにチェックを入れると、リモートウェイクアップ機能が有効になります。</p>

(表は次ページに続きます。)

No.	説明
9	<p><b>Enable Threshold</b>(しきい値を有効にする):ハイパースレッディング/デュアルコア PC 上の Widows HyperTerminal での動作中に再試行を行う場合、このオプションを有効にしなければなりません。デフォルト値である 0x100(例:完了用の 256 バイト)を設定するには、「<b>Enable Threshold</b>」(しきい値を有効にする)にチェックを入れてください。または、設定必要事項に応じて値を変更してください。</p>

## Diagnostics (診断) タブ

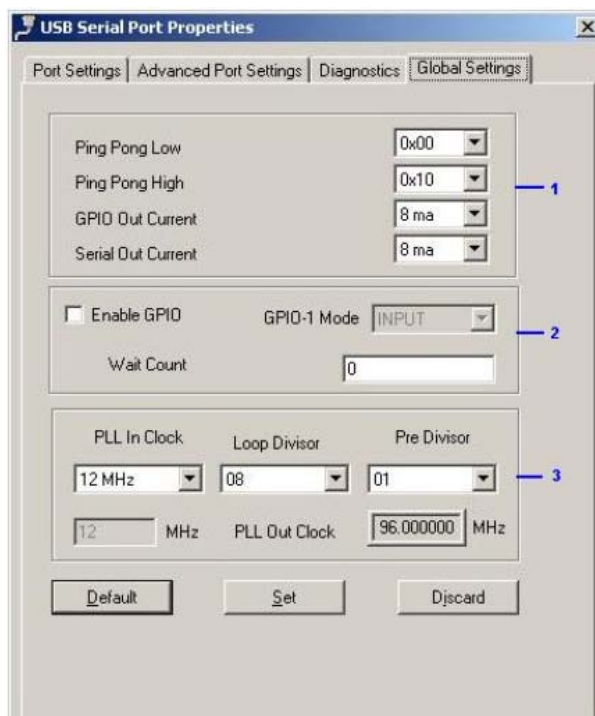


このタブは内部および外部ループバック診断を行うために使用されます。診断を行うには、「**Test Internal LoopBack**」(内部ループバックを診断する)または「**Test External LoopBack**」(外部ループバックを診断する)のいずれかのボタンをクリックして、「Test Result」(診断結果)欄で結果を参照してください。

「**Log Debug Events**」(デバッグイベントのログ)は、デバッグを開始するのに使用します。ラジオボタンを使用してイベントを選択してください。イベントには、「Trace」(トレース)、「Warn」(警告)、「Error」(エラー)、そして「None」(無)があります。

**注意:** デバッグ機能は、Windows 2000 および Windows XP 32 ビット版でご利用可能です。

## Global Setting (グローバル設定) タブ



このタブでは、必要に応じてグローバル設定をカスタマイズすることができます。設定値を全て元のデフォルト値に戻すには、「Default」(デフォルト) ボタンを、変更する場合は「Set」(設定) ボタンを、変更を適用する前にキャンセルするには「Discard」(放棄) ボタンをクリックしてください。このタブには下表のように、セクションが全部で3つあります。

No.	説明
1	<p>このセクションでは、必要に応じて、「Ping Pong Low」、「Ping Pong High」、「GPIO Out Current」および「Serial Out Current」メカニズムが調節可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Ping Pong Low and Ping Pong High:</b> これらの値は低いボーレートの際にシリアルポートのパフォーマンスが向上するように調節することができます。デフォルト値は全てのボーレートにおいて最適なパフォーマンスを提供します。</li> <li>◆ <b>GPIO Output currents および Serial Port Current:</b> この両方の値は特殊な場合に必要に応じて設定してください。</li> </ul>
2	<p><b>Enable GPIO</b> (GPIO を有効にする): このセクションでは、「INPUT」(入力) または「OUTPUT」(出力) モードにおいて GPIO-1 を有効にして、設定をすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Wait Count:</b> 1 台の PC にて 8 ポート以上のシリアルポートがより高いボーレートで設定された際に、CPU の使用を減らすように調節することができます。</li> </ul>

(表は次ページに続きます。)

No.	説明
3	<p>このセクションでは Loop Divisor 値や Pre Divisor 値を調節することによって、PLL Out Clock 値を確認し、ご希望のクロック値にフレキシブルに改善させることができます。この機能はまた、外部クロックが選択された場合に有効となり、外部クロックの値は、「Advanced Port Setting」(詳細ポート設定)タブの「Clock Selection」(クロック選択)リストで選択できます。</p>